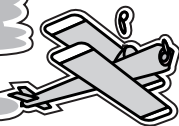


もとフ口添の
世界あちゅち
乱気流



世界中で最も良く通用するのはやはり英語です。英語を公用語としている国は、イギリス・アメリカ・カナダ・オーストラリア・ジャマイカ・マレーシア・フィリピン・インド・ケニア・ニュージーランド等20カ国近くになります。もちろん複数の言語を持つ国も含まれていますが、国際語である事は間違いありません。海外旅行をする上で、語学は絶対条件ではありませんが、出来た方が数倍楽しく、

また安全です。中途半端はむしろ危険ですが、ある程度の会話が出来れば買い物でも、レストランでも良い思いをします。あるレストランでメニューを見ながら、

客 "What is your recommendation today?"
(今日のお奨めは?)

ウエイター "Yes, We have snapper, oyster and halibut."
(はい、鯛・牡蠣・ヒラメがあります。)

客 "Sounds good! Then I'll try snapper, please."
(それはイイ。では鯛を試してみます。)

こんな会話が出来ればどこでもウマイものにありつけますし、店としてもそれなりに扱ってくれます。決して難しい言い方ではありません。上の会話は多少カッコ付けて書きましたが、〇〇プリーズ。とサンキューを使えば簡単です。

私が英語を覚える上で、大きな変化となったのが“日本語では表現しない主語を、人間主体で始めれば文章になり易い”事が分かってからです。



では、ここで実験です。下記の文章を英語にして見て下さい。

「ここは、冬に雪が多いのですか？」

この文で、“が”が付いてる雪を主語にして考えはじめると、.....英語になりましたか？たぶんSnowの後が続かないはずです。

"Snow is much here in winter?"

それでも意味は通ります。賢明な聞き手は、理解してくれます。でも人を主語にして文を作ると、より会話的になりどんな文にも対応できます。

"Do you have much snow here in winter?"

この場合の人のYouは個人の“あなた”ではなく“この地区に住むあなた方”の意味になります。こうすれば、much snowを入れ替えることであらゆる場面で使えます。是非 I, We, You, He, She, They などの人を主語とした言い方を練習して下さい。

KOMIYA DENTAL NEWSLETTER

10 2002年 月号



「天高く馬肥ゆる秋」の到来です。ところであなたの秋は、「勉学の秋」それとも「食欲の秋」？私ども歯科医療関係者にとっては、秋は学会開催が集中する季節です。

さて今年の5月、当院の予防システム「歯っぴいクラブ」等が、歯科の専門雑誌「アポロニア」（歯科新聞社刊）に紹介されました。記事は大きな反響を呼び、歯科医療管理学会（ちなみに当院は会員ではありません）から、関東支部大会のシンポジジニストに招かれました。

去る9月15日大会当日は、副院長（ゆう子先生）と衛生士の石黒がシンポジジニストとして、歯っぴいクラブのシステム紹介と歯科衛生士の役割について発表を務めました。院長の私と他のスタッフも、パソコン操作と応援を兼ねて全員で参加。横断幕こそ掲げなかったものの、一月以上に渡ってこの日のためにみんなで準備し、リハーサルまで行って万全の態勢で臨んだのでした。その甲斐あってか、当院の標語「明るく楽しく元気よく」は、当日の大会のシンボル標語の如くになってしまいました。

患者の皆さまにご報告をするとともに、この発表をこれからの診療により良い形で生かし、患者の皆さまのお口の健康維持のためにお手伝いできますよう、スタッフ一同ますます研鑽を重ねてゆきたいと思っております。

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。
このニューズレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。

☆ 診療日変更のお知らせ ☆

10月12日(土) } 午後休診します
26日(土) }



〒125-0041 葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F

☎ 03-5699-8888